

# SSKU

No.87

# 落の会だより

八王子西局

料金別納  
郵便

イベントが再開し、旅行にも  
行けるようになりました



八王子駅前放射線通りでの福祉祭り  
“ふきのとう”と“ひのき工房”が参加  
2023.5.20

江ノ島水族館 への日帰り旅行  
楽しい食事 ひのき工房 2023.6.12

## 低料第三種郵便

## 社会福祉法人 落の会

障害福祉サービス事業所

障害福祉サービス事業所

障害児通所支援事業所  
地域生活支援事業所

障害福祉サービス事業所

戸吹不燃物処理業務

### ひのき工房

### ふきのとう

### ぽぷら八王子

### とぶきふねん

就労継続支援 (B型)

生活介護

### ころぼっくる

就労継続支援 (A型)

八王子市委託業務

生活介護

※ '22年10月に就労継続

放課後等デイサービス

就労継続支援 (B型)

〒192-0001

〒193-0826

支援B型事業を終了

認定短期・日中一時

〒192-0001

八王子市戸吹町 1916

八王子市元八王子町

〒193-0834

八王子市東浅川町 629-1

八王子市戸吹町 2104

戸吹不燃物処理センター内

2-1839-2

八王子市東浅川町 625-5

TEL 042(666)5609

TEL 042(696)5090

TEL 042(659)3586

TEL 042(667)2158

TEL 042(667)4158

FAX 042(666)5619

FAX 042(696)5091

FAX 同上

FAX 042(667)2168

FAX 042(667)9489

# ふきのとう トピックス



ゲーム大会



高尾山へお出掛け

高尾山口駅



七夕飾り



佐々木職員、15年間ありがとうございました。



事業所内研修



陵南公園で花見



ふきのとう  
の植物と  
ふきのとう  
エンブレム



近所の方と一緒に  
植えてきたミカン  
をみんなで食べま  
した。  
利用者も喜び近所  
の方も喜んでいま  
した。

# ぽぷら八王子 トピックス



‘22年度もぽぷらで作ったお弁当箱の食事をお取り寄せしていただきました♪



ほくはピコザ  
ウルスです！



恵方巻も  
おいしかった  
です！



ひのき工房の啓明で  
クリスマスツリーを  
作りました□





## 障がいのある方たちにとって 大切な居場所として在り続ける「落の会」に！ 理事長 関 裕子

私は、この度、六月三日付けをもちまして社会福祉法人落の会理事長の職を拝命いたしました。

私は、落の会の前身の身体障害者通所訓練施設ふきのとう（数年後に授産施設）に入職して 32 年になります。初めはふきのとうのボランティアとして、平成3年4月から職員として、ふきのとう、第2ふきのとう、ひのき工房で利用者の皆さんと一緒に働いてきました。開所間もない当時のふきのとうは、小さな作業室があるだけでほとんど何も整っていないところからの出発でした。室内にトイレもなく、隣の会社に借りに行く状況でしたが、岩澤前理事長（当時は運営委員会会長）は、数年かけてトイレや台所を設置し、少しずつ作業場の環境改善を進めました。

前理事長は、障がいのある方たちが安心して働き続けられるようにと社会福祉法人「落の会」を創設し、ふきのとう、ころぼっくる、ひのき工房の新施設を作りました。その後も、一般就労事業所とぶきふねん、ぽぶら八王子と最低賃金以上のもらえる事業所を開設しました。前理事長のその熱意と行動力を私は尊敬しています。前理事長の想いを引き継ぎ、落の会の理念である“障害のある人もない人も共に手を携えて、自分らしく自立した生活を営み、安心して心豊かに暮らせる地域社会の実現、を目指し、落の会が障がいのある方たちにとって大切な居場所や働く場所として続けていけるように力を尽くしていきたいと思います。

そして、落の会で働く職員にとっても、誇りに思える落の会であるように努めていきたいと考えます。それぞれの施設、事業所では職員の人手不足・定着・資質向上の課題、地域社会貢献への取り組み、新施設開設等様々な課題を抱えていますが、役職員一同共に力を合わせてこれらの課題に取り組む乗り越えていきましょう。

いままで多くの皆様から温かいご理解と貴重なご支援をいただいたおかげで現在の落の会があることを深く心に刻み、微力ではございますがその重責を全うしていきたいと考えます。

今後とも、皆さまのさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 理事長退任にあたって

理事 岩澤 六夫

平成2年 柿下さんや小島さんを中心に障がいをもつ仲間が“ふきのとう”を作りました。場所は陵南中学の南隣、けやき通りに面して、私達が高尾労組懇で勝ち取った旧梶山合成(株)の倉庫跡。

ふきのとうが手狭になって平成11年、旧甲州街道沿いに第2ふきのとうを開設。安定した施設作りのため平成13年に「社会福祉法人」を創設。平成15年に念願だった自前の施設、ふきのとうを建設。当時は三田町会を中心に地域住民の皆さんが大勢参加して「ふきのとう工芸祭」を盛大に行い、開店前には行列ができるほどでした。

次の年、平成16年には、障がいのある人も最低賃金以上がもらえる職場をと、露の会の利用者・家族・職員の皆さんが立上げに参加して、八王子市が開始したペットボトルの中間処理の仕事をもらいリボーンを開設しました。

その後、“いつでも使えるショートステイを”という地元の強い要望を受け、ころぼっくるを(平成18年)、次に、狭い民家で身動きも出来なかった第2ふきのとうの利用者の“車椅子で自由に動き廻れる広い施設を作ろう”という強い要望で、ひのき工房を作りました(平成21年)。

ひのき工房は、敷地も建物も余裕がありましたので、法人本部を置き、自然に露の会の中心に育っていきました。そして、平成27年4月に八王子市の不燃物処理の委託を受け一般就労の「とぶきふねん」を開所。同年12月に(株)エフピコ様の八王子PW工場の製造委託を受け「ぼぷら八王子」(就労継続支援A, B)を開設することが出来ました。

これまで約30年昼夜も、休みなく、ただがむしゃらに走り続けてきました。それをスタッフの皆さん、利用者・御家族の方々、地域社会・都・市など行政の皆さん、全国の友人・知人の皆さんが支えて下さいました。本当にありがとうございました。露の会が、各施設が今あるのはこれら皆々様の御支援のたまものです。心から感謝申し上げます。

法人全体の方針は、理事会で時間をかけて議論し、評議員会の承認をもらって進める体制が根付いてきました。それぞれの施設(事業所)も、施設長・所長や主任、サビ管を中心に職員の皆さんが利用者支援に取り組む体制が出来つつあります。

私も長くなりすぎましたので、理事長職を退くことになりました(6月3日理事会で決定)。これからは、今まで話をする機会も作れなかった主任、サビ管などの中堅職員や日々の利用者の支援に携わる職員の皆さんとも話し合う時間を作り、それぞれの施設の課題について、皆さんが考え、議論して常に改革していける風土作りに注力出来ればと思っ

ています。また、当面ひのき工房のお助け隊やリサイクル、畑など外作業を分離し新しい施設作りに力を入れたいと思います。

更に、今まで土・日・祝日だけだった農作業を平日も加え、少なくとも週3日に出来ればいいなあと思案しています。これは私自身の健康のためでもあり、ころぼっくるの児童の収穫体験や施設の昼食の材料供給、欲しい方への販売も続けたいと思います。(年間野菜売上50万円以上)

これからも職員や利用者の皆さんと楽しみながら働きたいと考えていますので各施設の皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

## 50年のあゆみ

1968年(S43) 沖電気労組八王子支部委員長として沖電気に要請し身障者工場を開設。

その後、高尾労組懇を結成し梶山合成(株)倒産時に組合員の生活を守るため地区労と共闘会議を作り未払賃金、退職金を確保し、整理資金で解雇者自立のため雑貨店開店。その後、身体障がい者の「わかこま」「第2わかこま」グループの開設にボランティアとして参加。

1990年(H2) ふきのとう開設。最初は空缶集めや花売り、雨の日でも出来る木工製品作りを開始

1999年(H11)「第2ふきのとう」を開設。木工製品製作販売を柱に、その後ゼンコロ様の指導で古紙リサイクル事業開始。

2001年(H13) 社会福祉法人露の会を設立。

2003年(H15)「ふきのとう」を新築。露の会で初めて自前の施設をもつ。

2004年(H16) リボーン開設

2006年(H18)「ころぼっくる」を建設・開設。障がいのあるお子さんを持つ家族からの強い要望を受け、いつでも利用できるショートステイと日中一時支援事業を開始。

2009年(H21)「ひのき工房」を建設・開所。第2ふきのとうも手狭になり、元八王子町の広い土地を探し、長期間かけて地域住民の反対に対して現理事長と説得に廻り、御理解をいただくことが出来、集団回収や城山小学校の木工教室など通じて、その後の地域との素晴らしい関係を築くことが出来た。

2015年(H27)「とぶきふねん」立上げ。不燃物処理センターの手選別ラインの導入に際して、事業を受託し、一般就労での障がい者の雇用を増やす。ころぼっくるで「放課後等デイサービス」を開始。

同年(12月) ぽぷら八王子開設。(株)エフピコ様のPW工場新設に伴う食品容器製造事業を受託、障がい者の働く場を更に広げる。

2017年(H29) ひのき工房の別館を「子ども食堂」に提供し、地域貢献を更に進める。

2021年(R3) 法人設立20周年記念誌発行

## <目次>

1. 新理事長のご挨拶 (関 裕子)	3
退任のご挨拶 (岩澤 六夫)	4, 5
2. 2022年度事業報告と2023年度事業計画	
1) 本部	6～9
2) ふきのとう	10, 11
3) ころぼっくる	12, 13
4) ぽぷら八王子	14, 15
5) ひのき工房	16, 17
6) とぶきふねん	18, 19
3. 2022年度決算報告	20～22
4. 2023年度予算書	23
5. トルコ・シリア地震緊急募金の御礼	24
6. 後援会費の納入の御礼	25
7. 後援会だより	26～28

トピックス	ふきのとう	1	ぽぷら八王子	2
	ころぼっくる	29	とぶきふねん	30
	ひのき工房	31		

表紙 福祉祭りへの出店販売 (ふきのとう) と日帰り旅行 (ひのき工房)  
裏面 (32) “ぽぷら八王子の旅行” & “ころぼっくる利用者の絵画作品”  
裏面 (33) “ふきのとう” と “ひのき工房” で製作した木工製品の紹介

## 2022年度 事業報告

社会福祉法人 露の会 本部

### 1. 新施設開設の準備

ひのき工房のリサイクル、お助け隊など外作業を分離し、旧武田宅（賃借）で新施設を開設すべく準備を進めて来ましたが、現状のままでの道路ではダメ（市建築指導課）とのことで予定していた令和5年4月の開設は実現できませんでした。

### 2. コロナ感染症対策

それぞれの施設とも感染防止対策をとってきましたが、1施設で利用者、職員7名が感染し1週間閉所しました。他施設も利用者、職員等時々感染者が出ましたが、該当者をお休みにするなどして大きな混乱はありませんでした。

皆さんが一番楽しみにしている旅行は今年も実施できませんでしたが、施設内だけのお祭り、クリスマス会、映画、ゲーム会、食事会など工夫しながら実施し、喜ばれました。外部販売のイベントもスタッフだけの参加でしたが、総売上は約100万円となり意外に多額でした。

### 3. 各施設の指導

#### 1) ふきのとう

ずっと懸案事項だった生活介護一本化がようやく11月に実現出来ました。

#### 2) ぽぷら八王子

型替要員の採用に努め、ようやく3名採用出来ました。しかし、その教育指導に課題を残し、生産管理体制の整備と共に新年度に向けて改善の対策を進めています。

#### 3) とぶきふねん

現場職員の退職をカバーすべく採用に努め、職員5名、メンバー4名を採用、人員不足を解消し、以前より強力な体制になりました。

### 4. 労働条件の改善

- ① 今年、国の臨時交付金等も使い平均で3%以上の改善を実施しました。
- ② 一般就労や就労継続支援A型のメンバーで、勤務や作業レベルの安定した方から順次最低賃金より40円～50円以上アップし、健常者と比べても“同一労働同一賃金”と言えるようにしました。

### 5. 地域社会の関わり

- ① コロナ感染予防のため残念ながら子供食堂は休業状態が続いていましたが12月より再開しました。
- ② 5月にウクライナ救援募金への寄附をお願いし、避難民の救援のために使われるように、八王子市福祉政策課窓口（日本赤十字）を通じて170,760円送りました。11月には、豪雨災害被災者への寄附をお願いし、144,564円集まり、赤い羽根共同募金会を通じて送ることが出来ました。
- ③ 更に2月に発生したトルコ・シリアの大地震被災者への“きょうされん”呼びかけの救援募金にも取り組み、128,802円が集まり送ることが出来ました。
- ④ 隣地の武田様より空家になった家屋敷を4月から借り受け、近隣住民の協力を得ながら、新施設開所に向けた準備を進めました。

### 6. 本部事務局の取組み

- ① ストレスチェック（管理職）を実施し、職員のストレス解消に即応した研修を行いました。



- ② 同一労働同一賃金のため、今までなかった就労作業のステージ表を作成しました。各施設の事務作業の階層別作業分類表を作成し、統一した指導に対応させました。
- ③ とぶきふねん、ひのき工房の会計担当者を育成、当面の新施設会計に目途。
- ④ 第4回OJT報告会を実施し、各施設、事業所での育成文化の醸成に努めました。
- ⑤ 各種職員研修会を実施し、職員の学ぶ力の育成に努めました。

レポート学習	ゼンコロ会報誌「不思議な力」から学んだことについてのレポート提出 2022/9
学習会	地域福祉 (CSW) への相談支援の流れ (八王子市社会福祉協議会) 2022/11/11
講師派遣研修	レジリエンス～折れない心の作り方 (岩見 俊哉) 2023/1/13 多様な価値観を持つ職場の中で起こる、困難や脅威に直面した時に逆境や困難に押し潰されない、「適応力」「復活力」を個人として発揮するためのポイントを学習
OJT 研修	各施設、事業所より OJT の結果報告 2023/2/17
振り返り研修	2022 年度のふりかえりと 2023 年度の目標についてレポート 2023/2

## 2023 年度 法人事業方針

社会福祉法人 露の会 本部

### 1. 法人組織運営の点検と見直し

ふきのとうは開設から 33 年、ひのき工房は 24 年となりました。法人設立後の施設もころぼっくるが 17 年、とぶきふねんが 8 年、ぼぶら八王子が 7 年と経過し、それぞれの職員の皆さんの努力と、利用者、八王子市をはじめ地域社会の皆様の御協力を得て、それぞれが素晴らしい特徴を持ち、障がいのある人たちやその家族にとってかけがえのない存在となりました。

一昨年 9 月で 20 周年の節目を過ぎた法人もようやく安定し、落ち着いてきたと言われる半面、現状に甘んじるマンネリ化の傾向もあります。そのため各施設を含めた法人全体として組織運営の見直しが必要な時期になったと思います。今年は今までなかなか出来なかった人事異動を含め大胆に点検し、刷新をはかります。

### 2. 各施設運営のみなおしと確立

#### 1)ふきのとう

- ①生活介護一本化で今後どんな課題に力を入れ、そのために何を改善していくのか  
(例) 高齢化、身体、脳機能等の健康維持増進のための活動
- ②若い利用者を募集し、利用率 80%以上をめざす。  
(例) '23 年 70%、'24 年 75%

#### 2)ひのき工房

- ①木工事業の将来展望、どんな製品作りに力を入れるのか、生産、売り上げの目標は
- ②クッキー受注先(お客様)の要望にどう応えていくのか、売り上げ目標は、原価率は
- ③今後の生活介護のあり方の再検討
- ④利用率 85%の維持

### 3)ころぼっくる

- ① 放課後デイは、どんなことに力を入れ何をを目指すのか
- ② 将来を担う若手スタッフの育成
- ③ 利用率 100%

### 4)ぼぶら八王子

- ① 型替え要員の育成と定着
- ② 工場生産管理業務の分担で受注 100%達成を維持する
- ③ メンバーの採用育成定着で利用率 85%目標 '23年 70%、'24年 75%

### 5)とぶきふねん

「メンバー、スタッフが安心して働き続けられるために委託契約を毎年継続する」を最優先課題とし、皆が気持ちよく協力し合う仲間作りを進める。

そのために①5 Sと安全第一 ②手選別資源化率の向上 ③有害、マットの適正処理  
④メンバーの健康維持等支援体制の確立に力を入れる

## 3. 新施設の開設

昨年度は、取り付け道路の件で開設出来ませんでした。解決すべき課題を一つずつクリアーして落の会の新しい地域貢献事業としても何としても開設を実現したいと思います。

## 4. 労働条件の改善

- ① 物価高騰もありますので職員の皆さんの努力に少しでも応えるべく、平均で3%以上の改善を目指します。
- ② 労働基準法の改定で4月から60時間以上の残業の割増率が50%にアップされることに対応して、落の会としては50時間を超えた残業について割増率を50%とします。それに対応し、50時間以内の残業は25%の割増率とします。
- ③ 昨年度実施したインフレ手当については、法人の財政状況を見ながら賞与でのインフレ手当(生活支援金)の支給を検討したいと思います。

## 5. 法人本部・施設長会の取組み

- ① 法人研修を充実させ、現状に合った支援レベルのアップを図ります。
- ② 第5回OJT報告会を実施し、年間を通しての新人教育に努めます。
- ③ 一人一人との対話を重視し、現場を担う施設長、主任、リーダーの課題をわかりやすく提示し、その育成に努めます。
- ④ 同一労働、同一賃金に対応したステージ表を完成し、賃金体系見直しに着手します。
- ⑤ インボイス制度、電子帳簿保存法(電子取引データの電子保存)等、法の順守に対応していきます。
- ⑥ 各施設・本部のホームページを更新・充実させ、新卒者の採用にも力を入れます。
- ⑦ 新施設会計の取組み  
これらの課題を本部事務局と施設長会が一体となって取り組みます。

## 2022年度 ふきのとう事業報告

ふきのとう施設長 清水 潤児

### <総括>

9月にコロナ感染拡大が起こり、5日間閉所しました。知識不足による危機意識の甘さが課題となりました。緊急時のマネジメントを再考し、「コロナ関連マニュアル」に集約しました。10月に就労継続支援B型を終了し、11月より生活介護のみの事業所としました。誰もが同じ質の支援を提供できるよう業務・支援マニュアルを整備しました。「利用者一人ひとりが自己肯定感を持って自分の役割を果たす。」そんな「社会参加の場」であり「居場所」となる施設づくりを目指してきました。

### (1) 生活支援

加齢や障害の進行により、今まで出来ていた生活動作などが難しくなっています。日々の関りの中から小さな変化をキャッチすることに意識を向けました。何が原因なのか支援会議で話し合い、新しい支援を実施します。課題が表出したら再び話し合い、それを繰り返す事でより良い支援に繋がりました。

### (2) 就労支援

生活介護のみの事業所になりましたが、就労支援は継続し、社会人としての誇りや、仕事をする意義を利用者・職員共に感じた1年でした。納期が迫った時の緊張感・集中力、梱包が終わった時の安堵感を皆で分かち合いました。

### (3) 虐待防止委員会

定期的な会議を開催し、ふきのとう虐待防止マニュアルを完成させました。また施設内虐待防止研修を企画し、グループワークを通じて虐待防止への意識を高め、意見を言い合える雰囲気づくりに役立てました。

### (4) 感染防止委員会

利用者・職員の安全確保を目的として感染症対策委員会を設置しました。感染症の研修への参加、マニュアルの整備を行い、予防対策など随時更新しました。

### (5) 研修

法人内研修（安全運転講習、メンタル研修、地域資源に関する研修、OJT研修）

法人外研修（支援計画作成について、口腔ケア、コロナウイルス対策研修）

事業所内研修（八王子市虐待防止伝達研修）

### (6) 地域交流

リサイクル回収や畑の会で地域との交流を図りました。近所の方々とは、草取りや雪かきなど共に行いました。植物を植えて、分け合い関りを深めました。

### (7) 防火・防災

業者による消火器点検、備蓄食糧の確認を行い災害に備えました。

## 2023年度 ふきのとう事業計画

ふきのとう施設長 清水 潤児

### <事業運営方針>

- ① 露の会の理念に基づき、利用者の社会参加の場としての役割を大切に、安心して楽しく過ごせる施設であると共に、利用者が主体的に活動できる体制を整えます。
- ② 生活と仕事のバランスを考慮しながら、利用者の心身状態を第一に考え、一人ひとりの個性に合った支援・生産活動を提供します。生産活動から得られる経験を大事にします。
- ③ 職員の資質向上の為、法人内外研修に参加します。職員がやりがいを持ち働きやすい環境を目指します。
- ④ 地域に開かれた施設を目指します。日々の関りや町内行事を通して地域に根差した施設を目指します。

### <事業内容>

#### ・生活介護と健康管理

加齢や障害の進行による身体状況の変化に対応する為、日々のモニタリングを的確な支援プランに繋げていきます。必要時には家族や他事業所と連携していきます。利用者・家族が安心して利用できる場所づくりをしていきます。

利用者の希望や思いと、職員の思いを話し合う場を設けます。隠れたニーズを発掘するとともに前向きな姿勢をサポートしていきます。利用者は発信する力、職員は聴いて課題解決する力を向上させていきます。

クラブ活動は、十分な感染対策を行い継続していきます。楽しみやりハビリ効果を兼ねたクラブ活動で心身機能の向上を目指していきます。感染状況を考慮しながら行事再開をしていきます。

嘱託医の定期診察を実施し、医師のアドバイスを日々の支援に活かしていきます。利用者を取り巻く家族や相談支援専門員などとも連携をとりチームで支援していきます。

#### ・就労支援

利用者の生産意欲が高まるような声掛け、雰囲気づくりをし、自分達で作った製品を売った喜びを大切にします。現在の受注を継続し安定した作業と収入を確保していきます。

### <職員研修>

- ・研修は受けただけでなく、内容を事業所内研修として他職員に伝達し、利用者支援や業務に活かしていきます。

### <地域交流>

- ・施設周辺の清掃、町内祭事などに参加し交流を図っていきます。災害時には緊急的な避難場所として地域貢献できるよう整備していきます。

### <虐待防止委員会・感染防止委員会>

- ・各委員会を定期的開催し、事例検討・結果を全職員で共有していきます。研修等に参加、新しい情報を正しく理解し事業所に還元していきます。

## 2022年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

### <2022年度総括>

・2022年度もコロナ禍でのスタートとなりましたが、子どもたちも成人の利用者さんも元気に来所され、新1年生も新たに加わり、にぎやかな日常のスタートとなりました。放課後デイにおいては、身辺自立の成長を柱とし、マスクの着用、トイレ、食事、着席、あそび道具の片づけ等を自身の力でできるよう促していき、2学期後半になると、子どもたち自身でできる場面が増えてきました。また、3年前より取り入れてきた当番活動(役割)は定着し、1便下校時は低学年の子が、2便下校時は中高生の子が行うように変化してきました。低学年の子は僕も私もと当番活動をやりたいとの声があがるのですが、最近は、1人ひとりが自信をつけたようで、1人でやりたいという子も増えてきました。当番活動をやる中では、当番活動をやりたいという気持ちを抑えきれない子、2人でやるのは嫌だという子、順番を理解できる子もいればできない子もいます。そういう場面こそ育ちのチャンスです。職員が気持ちを吸い上げつつ、あるべき形を伝えます。そんなやりとりを続けていく中、低学年の子は自分の思いを我慢したり、折り合いをつける力が身につけてきていると実感しています。高学年のお姉ちゃんやお兄ちゃんは自身の役割は何かを理解し、異年齢集団の生活の中での関わりを自身も楽しみつつ、低学年への温かい眼差しを向ける姿が多く見られました。イベントとしては昨年に引き続き、ひのき工房の畑の野菜採り体験を実施したり、うちわ作りをしたり、スーパーボールすくいをしたりと子どもたちが楽しめるイベントを実施しました。日中一時、認定短期入所においては、定期的に利用される方がほとんどですので、環境設定を大事にすることで安定した生活を過ごすことができ、土曜日については城山湖へのドライブが定番となりました。

### <2022年度実績>

#### ① 放課後等デイサービス

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	129	154	198	170	128	174	160	175	148	137	173	185	1,931
人数	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324

#### ② 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする) 月当たりの支給量5日/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	22	22	22	22	17	27	16	23	25	22	20	12	250
人数	9	9	9	10	7	10	7	11	11	9	9	6	107

#### ③ 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象) 月当たり支給量56時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
時間	204	175	242	244	179	227	141	197	163	148	192	201	2,313
回数	47	52	68	69	58	66	58	59	48	45	55	58	683
人数	12	14	15	17	16	15	12	14	12	11	14	12	164

# 2023年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	ころぼっくる
事業名	障害児通所支援事業 (1) 放課後等デイサービス 地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業
職員数	施設長(1) 常勤職員(2) 非常勤職員(18)

## 1. 事業内容・事業目的

### 障害児通所支援事業

- ・放課後等デイサービス（八王子市在住の方を対象とする）  
 1人ひとりの個性と集団で育まれる生活力を大事にし、継続性による変化を大切に捉え、ライフステージに必要な活動を取り入れ、様々な体験を通して、個々の感性を育むことを目的とする。

### 地域生活支援事業

- ・認定短期入所事業（八王子市在住の方を対象とする）
- ・日中一時支援事業（八王子市在住の方を対象とする）  
 障害児（者）の日中活動及び宿泊の場を確保し、日常的に介助している家族の就労支援及び一時的な休息時間の確保を目的とする。及び障害児（者）の緊急一時保護を目的とする。

## 2. 事業運営方針

障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを確立できるように支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。

## 3. 具体的な取り組み

2023年度も、これまでの事業継続とともに、関係機関との連携を強化し、よりよい支援に向け内外の研修を通して、信頼と安心のサービス向上に取り組めます。

- ① 「利用者とその家族支援」
- ② 「関係機関との連携」
- ③ 「より質の高い職員集団を目指す」
- ④ 「地域との連携及び交流の継続」
- ⑤ 「環境衛生及び整備の徹底」
- ⑥ 「定期的な防災訓練の実施」

## 2022年度 ぼぶら八王子 事業報告

ぼぶら八王子施設長 木原 法子

### 1、2022年度 総括

- ① 安全衛生面に関して、メンバー、スタッフ合わせて5名が新型コロナウイルスに感染しました。それでも、そこから感染を拡大させることはなく、工場閉鎖には至りませんでした。また、ノロウイルス・インフルエンザ感染者は出ませんでした。これは、基本的な感染防止ができていたということだと思います。安全面では、スタッフ1名が機械で手指を切創してしまい、今年度も、労災1件を出してしまいました。
- ② 生産面に関して、開所から7年目になりました。清掃等が行き届いたきれいな工場とエフピコ様の品質管理部から評価されていますが、機械等のメンテナンスの面で、課題が出てきた1年でした。WU自動機・手動機共に、アプリケーションータンクの糊詰まりが頻繁にありました。2022年度前半は糊詰まり対応で機械が止まることも多々あり、生産数を伸ばすことができませんでしたが、エフピコ様から延長稼働の要請を受け、7月まで延長稼働を行ってきました。アプリケーションータンクのメンテナンス方法を、エフピコ愛パックス茨城工場から学び、後半は糊詰まりも減少し、生産数を取り戻せるよう頑張りました。今年度、新人スタッフが3名入り、職長以外の型替え要員として、教育を行ってきました。2名がひのき工房に異動になりましたが、1名をヒートシール機の型替えのオペレーターとしてOJTを進めました。
- ③ メンバー支援としましては、積極的に新しいメンバーさんの確保を行うように努力した1年でした。八王子市とあきる野市の特別支援学校には実習に来てほしいことを先生方に伝えました。また、支援機関から見学の申し込みがあった場合も、積極的に、見に来てもらえるよう配慮しました。今年度はA型が2名増え、登録者数は9名になりました。

### 2、生産状況

	4月	5月	6月	7月	
生産数量	803,965個	876,000個	986,610個	844,950個	
生産数量(手作業)	7,200個	48,960個	23,040個	36,000個	
売上金額	2,938,193円	3,314,520円	4,404,444円	3,816,780円	
	8月	9月	10月	11月	
生産数量	669,730個	785,055個	765,805個	761,830個	
生産数量(手作業)	36,000個	4,620個	33,680個	80,640個	
売上金額	3,045,812円	3,466,122円	3,761,868円	3,573,812円	
	12月	1月	2月	3月	合計
生産数量	806,370個	680,690個	797,140個	876,895個	9,655,040個
生産数量(手作業)	77,760個	0個	0個	72,000個	419,600個
売上金額	3,761,868円	2,772,760円	3,779,692円	4,056,338円	42,420,003円

生産数は、7月まではエフピコ様からの延長稼働の要請を受け、スタッフ・メンバーで土曜日の休出を行い、また、日々2時間の延長稼働も行いました。6月には手作業も合わせて100万個の生産実績を上げることができました。また、理事長がエフピコ様の常務との話し合いの中で、加工賃を今までの3.3円から4円に引き上げてもらえるように話してくださいました。8月以降、新人スタッフの教育、機械の糊詰まり等の不具合、良品効率の低迷(不良品が多い)などが重なり、1月まで生産数が伸び悩んでいました。糊詰まりはメンテナンスの甲斐があり、糊トラブルは減少しました。2月・3月で生産数を伸ばしていけるようにと頑張りました。

### 3、フロアホッケーと余暇活動

2022年度もコロナウイルス感染拡大の影響で、フロアホッケーは練習も行わず、試合にも一度も参加しませんでした。しかし、10月のエフピコ杯や、1月の東京都連の交流大会は開催されており、来年度は練習を再開したいと計画しています。余暇活動としては、今年度も、何度か、ぼぶら八王子で生産した容器に入っているお弁当を注文し、みんなでお昼に戴きました。イオンの恵方巻も戴きました。また、ひのき工房からケーキの販売にも来ていただきました。その他としては、ひのき工房の製品を使ってクリスマスツリーを作ったりしました。

## 2023年度 ぼぶら八王子 事業計画

ぼぶら八王子施設長 木原 法子

### 1 生産目標 1日 41,000個 月目標 820,000個 クレームゼロを目指します。

検品、包装、梱包、ケース作り、側材・内装補充、手動機での製造等の仕事を担当するはメンバーで、スタッフはメンバーが安心して仕事に取り組めるように機械の調整をし、サポートしていくことが大切になります。

### 2 良品効率 99%を目指します。

(株)エフピコ様の信頼を得るためには、良品効率を常に99%以上にすることが必須になります。2022年度は5月、6月の2か月のみでした。今年度は99%に戻せるよう通年で生産している製品から、安定して生産できるようにしていきたいと思えます。

### 3 メンバー支援

ぼぶら八王子は、障害のある人たちの就労系の事業を行う事業所として、(株)エフピコ様から委託を頂いたものであります。そのため、支援としては、障害のあるメンバーが「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していくことが最大の課題となります。今年度も職員会議・支援会議を毎週一回行い、本部のweb研修を活用し、スタッフの支援の基礎力を付けていきます。メンバーが、ぼぶら八王子で毎日休まず仕事を続けられるように、支援できる力を付けていきたいと考えています。

### 4 地域とのつながり

2023年度は地域での催事があつたら、参加できるように地域の情報収集を行いたいと思えます。昨年は、実習生の所属する福祉作業所のパンの販売を計画しましたが、コロナ感染の濃厚接触者が確認され、実現しませんでした。2023年度はこのような企画で地域の福祉作業所と交流が行えるようにしていきたいと思えます。

#### <安全衛生と健康管理>

災害ゼロを目指します。

今年度もスタッフ、メンバーはヒヤリハット報告を行って、災害に対して意識付けをしていきます。危険に対しても各自が少しでも予測できるように考える習慣を身に付ける危険予知トレーニングも行っていきます。また、安全衛生会議を月一回行い、スタッフが安全パトロール結果を報告し、他工場・他施設での災害報告も受けながら、一人ひとりが安全や衛生について常に考えていくようにし、「安全で、安心して、気持ちよく、意欲的に働き続けることができる職場」を確立していきます。健康管理としては年一回の健康診断の実施とインフルエンザの時期にはできるだけ全員に予防接種を行います。特にコロナウイルスが終息するまでは注意し、更にインフルエンザウイルスが流行する時期には、メンバー向けに予防のための勉強会を毎月実施していき、予防に努めていきます。

#### <防災対策>

消防計画にもとづき、年2回以上の避難訓練・防災訓練を実施します。毎年、物流センターとの合同での避難訓練に参加しました。また、消火器訓練も行います。関東地域の大地震等災害時の連絡方法・避難場所を家族等に確実に伝わるよう整備していきます。また、八王子PW工場は洪水時及び土砂災害時の要配慮福祉事業所となります。八王子市からは毎年、土砂災害等を考慮した避難訓練の要請があると思えますので、計画を立て実施していきます。

#### <職員研修等>

年間の法人職員研修に積極的に参加します。昨年の「チームOJT」の研修会で学んだことを基本に法人全体ですすめる「チームOJT」を、ぼぶら八王子でも実施し、発表していきます。また、外部研修への参加を企画し、職員の資質向上をめざします。研修を通し、ぼぶら八王子で毎日仕事を行っていく上で必要な支援を行える職員の育成を目指します。



## 2022年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 松下 由華

### 1. コロナに負けない！ 出来る最大限の楽しみを実施！

今年度は新型コロナ「第7波」の感染急拡大により職員や利用者、またその家族の陽性が相次ぎ、予断を許さない状況が続きました。昨年度に引き続き、徹底した感染対策の実施と共に東京都から推奨された集中的抗原検査を全職員で定期的に行い、感染拡大防止に努めました。コロナ禍でも出来る最大限の楽しみを！とみんなで考えアイデアを出し合ったひのき工房祭りやクリスマス会では、利用者の皆さんが笑顔あふれる素敵なレクリエーションとなりました。

### 2. 生産活動(年間売上1,964万円) 全ての作業で売上アップ！！

年間売上目標1,460万円に対し、実績は前年度より400万円以上売上を伸ばすことができました。イベント販売への積極的な参加や、お助け隊の活躍により、工賃積立金を取り崩すことなく利用者の皆さんへ月々の工賃・夏季・冬季・期末手当を支給することが出来ました。

- 1) リサイクル事業：古紙回収(有料回収)、薪割りに加え、おたすけ隊の植木の剪定では新規顧客とリピーター増加により、売上アップに大きく貢献しました。(売上788万円)
- 2) 木工事業：レーザー加工での安定した注文とイベント出店が増えたことにより、売上が昨年より130万円上がりました。(売上467万円)
- 3) 清掃事業：外作業が好きな利用者たち中心に役割分担し互いに協力して取り組みました。
- 4) お菓子作り：イベント販売の再開と新たに(有)味楽園様との取引により、売上66万円アップ！また、新商品のショートブレッドも好評をいただきました。(売上197万円)
- 5) 生活介護：ゴルフボール磨き作業を終了し、勝ち勝ち君検品と生活介護オリジナルの積み木セットを製作し、イベント販売では人気商品となりました。(売上39万円)
- 6) 野菜作りと販売：畑が計5か所になり年間を通してお菓子の材料を提供できました。ころぼっくるの児童に収穫体験を2回実施でき、売上では初めて40万円を超えました。  
(売上43万円)

### 3. 利用者支援

- 1) 3月末現在、利用契約者数は就労B34名、生活介護19名、合計53名でした。利用率では昨年度を下回りましたが、利用希望の新規受入を再開できる見通しが立ちました。
- 2) 利用者さんが玄関先で休憩していたところ、立てかけてあったコロナ対策用の網戸が急に吹いた風により倒れ、右眼を負傷させてしまいました。職員は重大事故として再発防止の徹底を図り、施設内外に危ないと思われる場所がないか点検し改善を進めています。
- 3) 相談支援員、地域包括、はちまるサポートと連携強化を図り、利用者一人ひとりの生活全体を捉えた支援を進めることができました。

### 4. 職員研修実施の強化 — 職員の資質向上と支援スキルアップ

- 1) 講師(株式会社ムラタ)に依頼し、安全運転講習会を実施しました。また、毎朝送迎前にミーティングを行い、安全運転への意識づけ強化を図りました。
- 2) 15分単位研修では3回に渡り「知的・発達障がい者の高齢化」について学び知識向上に努めました。

## 2023年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房施設長 松下 由華

### 1. 事業運営方針

- 1) 私たちは、人間としての尊厳を守り、利用者の安全・安心を一番に考え支援を行い、利用者が主体性をもっていきいきと働き、心地よく笑顔で過ごせるよう支援します。
- 2) 就労継続支援事業の売上増で、利用者平均工賃アップをめざします。
- 3) 職員スタッフは、日々の支援が職員相互のチームワークによって成り立つことを十分に

自覚し、互いに思いやりの心を持ち、相手を尊重し協力し合える職場環境作りを進め、常に職員間の信頼関係を大切に一致団結した職員チームを継続します。

- 4) この地域で障害のある人たちが自分らしく自立し、障害のある人もない人も共に手をたずさえて生きていけるように、地元近隣住民・町会・小中学校・福祉施設・病院等との地域交流をさらに進め共生社会をめざします。
- 5) 地域の子供たちや高齢者の方たちの「子ども食堂」や「集団回収」に協力するなど地域貢献を進め、地域の皆さまにも役立ち、親しんでいただける施設作りをめざします。
- 6) 新施設立ち上げの準備を進め、なるべく早い開所をめざします。また、リサイクル事業の分離によって見込まれる減収を検討し、工賃の確保をめざします。

## 2. 生産活動

年間売上目標 1,600 万円！ イベントに多く出店し、やりがいと利用者工賃アップをめざしていきます！！

### 1) 事業別年間売上目標

木工	リサイクル事業			生活介護			農園
	リサイクル	お助け隊	薪割	清掃	お菓子作り	検品	
450万円	430万円	260万円	56万円	150万円	200万円	40万円	35万円

- 2) 木工事業：イベント販売や納品先の開拓に力を入れ、利用者さんと一緒に「作り」、「お客さんに届ける」仕事を日々安心・安全に取り組んでいきます。レーザー機器を使った新商品開発に注力します。
- 3) リサイクル事業：作業有料化を継続実施。更に、おたすけ隊の依頼を増やし地域住民の困りごとを手伝いながら、お互いに助け合える関係性をめざします。また、新施設への準備を進めていきます。
- 4) 清掃事業：身体を動かす屋外作業が好きな利用者さんが担当し、作業準備から片付けまで利用者さんと協力し合い、契約継続できるよう誠実に取り組みます。
- 5) 生活介護（請負作業）：利用者さん同士が楽しく、主体的に出来ることを増やしていくと共に、昨年度好評だった積み木・お風呂セットを積極的に取り組んでいきます。
- 6) お菓子作り：作業計画や新商品開発など、積極的に利用者さんにも携わってもらい、やりがいを持って作業に取り組めるようにします。また、原価率を正確に把握し販売価格の見直しを検討します。
- 7) 農園作業：お菓子作り班の材料となる人参、ブルーベリー等や厨房用野菜作りに力を入れ、八王子市の農業塾に参加（3名）し野菜作りを学びます。

## 3. 利用者の皆さんが安心して元気に働けるよう個別支援・健康管理の充実をめざす！

- 1) 利用者の些細な体調等の変化に留意し、その記録や職員間で共有することで見逃さない支援に努めていきます。
- 2) 今年も毎月1回の嘱託医訪問相談及び週1回の理学療法士リハビリ（理学療法士3名・作業療法士1名）を継続実施し、利用者の健康管理に取り組みます。
- 3) 社会情勢を把握しながら利用者の安全を第一に考え、コロナ感染症対策の取り組みを続けていきます。また、職員の定期抗原検査を継続実施し、夏・冬休み明けには全利用者にも受けていただき、感染拡大防止に努めていきます。

## 4. 主体的に出来ることを増やし、楽しみを見つける！

- 1) 手話教室の再開や、コロナ禍で減ってしまった楽しみを増やせるよう検討を進め、少人数で行く日帰り選択レクを計画し実施します。
- 2) 絵画・イラスト・カレンダー製作等にも力を入れ、作品展も積極的に応募します。
- 3) 季節ごとや小さなイベントにも飾りつけを行う等、雰囲気や皆で楽しみ明るい環境作りをします。

## 2022年度 とぶきふねん 事業報告

とぶきふねん所長 新野 浩

### <2022年度総括>

- ・上期にスタッフ5名とメンバー1名の計6名が退職し、とぶきふねんとしては昨年からの課題であった人員の採用を積極的に行いました。結果として職員5名とメンバー5名の計10名を新たに仲間に加えることができました。当初はメンバーと新人職員との間で少しギクシャクした感じが見受けられましたが、熟練したメンバーの皆さんに新人職員が作業の仕方など教えてもらいながら、お互いが個々の性格や行動を知ることにより少しずつ関係も改善していき現在は全員の協力体制が築かれて来ました。
- ・下期より新たに職員全員で話し合いを行い、職員・メンバーの作業の覚え方の改革を行い「ホップ・ステップ・ジャンプ」をキャッチフレーズにして、メンバーの実習も手選別からではなく有害作業からにし、まず選別品を覚えていただき職員・メンバーに対してコミュニケーションが取りやすい環境作りを心掛けました。その結果、下期一人も実習の打ち切りや退職する方がいませんでした。また職場のレクリエーションの一環として「土用の丑の日」を中心に職員・メンバーの皆さんで鰻など、好きなものを食べる昼食会を二回開催することができ皆さんに喜んでいただけました。

### <受託業務の質、作業効率を向上させる>

- ・安全衛生会議やメンバーミーティング等で手選別の品質の向上について職員・メンバーで意識合わせをして選別金属の回収量を増やす努力をしました。
- ・メンバー、職員を全員集めてどのような時に異物混入が起こりやすいかを話し合い、異物混入がないように注意を呼び掛けました。また作業に慣れた人に限定し、二重チェックを行うことにより混入をなくすようにしました。

### <メンバー支援・健康管理>

- ・支援担当を決め、それぞれのメンバー個別の支援計画を策定しました。職員間でのメンバーの体調など状況報告が行われるようになり、情報共有することでメンバーの状況も把握しやすく支援がしやすくなりました。
- ・粉塵マスクのフィルターを半年に一度定期的に全員交換することにし、衛生管理を強化しました。

### <独立した事業所としての運営>

- ・「障がいのある方にとってより良い就労の場を創る」を目標にメンバーミーティングや全体会議、個別面談を行いメンバーの皆さんが働きやすい職場をつくるように努めました。

## 2023年度 とぶきふねん 事業計画

とぶきふねん所長 新野 浩

### <2023年度事業計画>

#### ① 八王子市戸吹クリーンセンター委託業務

- ・スタッフ・メンバーが揃い新年度が始まります。スタッフ・メンバーが一丸となり今年度も労災ゼロ、安全に作業を行い市職員の方々やメタウォーター(株)の方々と報連相をしっかりと行い、さらなる信用・信頼を築けるようにします。
- ・新スタッフと新メンバーについてさらなるスキルアップを行い新旧のスタッフ・メンバーが協力し合うことにより、とぶきふねんとして全ての面でレベルアップを図って、今後も契約を継続していただけるよう努力します。

#### ② メンバー支援

- ・個別の支援計画表、モニタリング表、安心シートを定期的に見直しメンバーの皆さんとの定期面談を継続し、課題の大きなメンバーについては個別に支援員の方と連携を密に行いメンバーを支えていきます。また支援の方針をスタッフ同士で十分共有していきます。
- ・メンバーの皆さんが積極的に発言や提案をし、意欲、やりがいをもって働ける職場作りを進めます。スタッフはメンバーの皆さんの良くない言動には時間をかけて優しく、時に厳しく真心をもって支援を行います。

#### ③ スタッフ育成

- ・定期的開催される法人研修に積極的に参加し、外部研修についても Web 研修を活用し積極的に参加します。研修に参加することにより職員の資質・能力の向上を目指し仕事(作業)を行っていく上で必要な支援を行える職員を育成します。
- ・それぞれのスタッフが自分の担当する作業の知識をより深め、能力向上に努めます。

#### ④ 安全・健康管理等

- ・2023年度新型コロナウイルスについては分類が2類から5類に変更され行動制限が緩和に向かいますが、とぶきふねんとしては、国の方針や八王子市の方針に従い引き続き感染対策を実施していきます。
- ・毎朝メンバー・スタッフの意識向上のため5S(整理・整頓・清潔・清掃・安全)唱和を続け、安全な作業環境を作ります。
- ・稼働停止日にスタッフ・メンバー全員で安全衛生委員会を開き月々の課題や改善、特にその徹底を周知します。併せて危険予知トレーニング(KYT)で気付きや安全行動の向上に繋がっていきます。

2022年度決算報告

資金収支内訳表

(内部取引含む)

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ほぶら八王子	ころぼっくる	とぶきふねん	合計
事業活動による収支	収入							
	165 就労支援事業収入		19,643,703	1,054,073	42,370,003		73,998,100	137,065,879
	01 木工事業収入		4,672,297	900,878				5,573,175
	02 農産品事業収入		437,030					437,030
	03 リサイクル事業収入		8,501,153	68,565				8,569,718
	04 仕入品販売事業収入		510,970	84,630				595,600
	05 生活介護事業収入		391,280					391,280
	06 新割事業収入		1,356,410					1,356,410
	07 不燃物処理事業収入						73,998,100	73,998,100
	08 クッキー販売事業収入		1,972,440					1,972,440
	09 食品容器製造事業収入					42,370,003		42,370,003
	10 その他事業収入		106,185					106,185
	11 清掃事業収入		1,695,938					1,695,938
	166 障害福祉サービス等事業収入	2,700	113,111,792	39,867,991	39,324,518	32,094,625	6,501,333	230,902,959
	01 自立支援給付費収入		93,916,639	35,058,867	26,013,324			154,989,430
	02 障害児施設給付費収入					22,981,308		22,981,308
	03 利用者負担金収入		446,400		465,000	259,133		1,170,533
	05 特定費用収入		1,809,000	10,000	706,579	166,100		2,691,679
	06 その他の事業収入	2,700	16,939,753	4,799,124	12,139,015	8,688,084	6,501,333	49,070,009
	172 経常経費寄附金収入	370,800	140,000	20,000		79,200		610,000
	173 受取利息配当金収入	1,089	692	101	149	142	196	2,369
	174 その他の収入	50,067	1,739,524	9,000	493,833	70,100	1,050,260	3,412,784
	事業活動収入計(1)	424,656	134,635,711	40,951,165	82,188,503	32,244,067	81,549,889	371,993,991
	支出							
121 人件費支出	12,784,467	79,561,213	31,506,394	30,576,150	25,530,075		179,958,299	
122 事業費支出		15,554,817	3,350,780	3,416,618	3,611,654		25,933,669	
123 事務費支出	1,585,879	5,941,278	2,925,606	1,630,400	3,094,328		15,177,491	
124 就労支援事業支出		17,363,968	1,185,777	42,370,003		73,710,706	134,630,454	
01 就労支援事業販売原価支出		17,363,968	1,185,777	42,370,003		73,710,706	134,630,454	
01 就労支援事業製造原価支出		17,363,968	1,185,777	42,370,003		73,710,706	134,630,454	
01 木工事業支出		4,955,030	1,185,777				6,140,807	
02 農産品事業支出		418,103					418,103	
03 リサイクル事業支出		6,033,166					6,033,166	
04 仕入品販売事業支出		214,163					214,163	
05 生活介護事業支出		976,059					976,059	
06 新割事業支出		1,126,438					1,126,438	
07 不燃物処理事業支出						73,710,706	73,710,706	
08 クッキー販売事業支出		1,843,445					1,843,445	
09 食品容器製造事業支出					42,370,003		42,370,003	
11 清掃事業支出		1,797,564					1,797,564	
129 その他の支出		456,363					456,363	
01 利用者等外給食費支出		456,363					456,363	
事業活動支出計(2)	14,370,346	118,877,639	38,968,557	77,993,171	32,236,057	73,710,706	356,156,476	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△13,945,690	15,758,072	1,982,608	4,195,332	8,010	7,839,183	15,837,515	
施設整備等支出	収入							
	176 施設整備等補助金収入		67,000	50,000				117,000
	180 保険金収入		99,757					99,757
	施設整備等収入計(4)		166,757	50,000				216,757
	支出							
132 固定資産取得支出	1,065,135	634,810		181,500		286,880	2,168,325	
施設整備等支出計(5)	1,065,135	634,810		181,500		286,880	2,168,325	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△1,065,135	△468,053	50,000	△181,500		△286,880	△1,951,568	
その他の活動による収支	収入							
	186 退職給付引当資産取崩収入				131,000			131,000
	193 事業区分間繰入金収入	13,673,508						13,673,508
	194 拠点区分間繰入金収入	7,371,160	79,500	48,000		3,000,000		10,498,660
	195 サービス区分間繰入金収入	7,742,260		975,880				8,718,140
	その他の活動収入計(7)	28,786,928	79,500	1,023,880	131,000	3,000,000		33,021,308
	支出							
	140 積立資産支出	1,792,000	6,882,000	303,000	377,000	193,000	435,000	9,982,000
	01 退職給付引当資産支出	1,792,000	603,000	303,000	377,000	193,000	435,000	3,703,000
	03 工賃変動積立資産支出		1,279,000					1,279,000
	04 施設整備等積立資産支出		4,000,000					4,000,000
	06 設備等整備積立資産支出		1,000,000					1,000,000
	147 事業区分間繰入金支出						13,673,508	13,673,508
	148 拠点区分間繰入金支出	3,000,000		2,758,200	4,740,460			10,498,660
	149 サービス区分間繰入金支出		7,742,260	975,880				8,718,140
150 その他の活動による支出	1,000,019						1,000,019	
その他の活動支出計(8)	5,792,019	14,624,260	4,037,080	5,117,460	193,000	14,108,508	43,872,327	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	22,994,909	△14,544,760	△3,013,200	△4,986,460	2,807,000	△14,108,508	△10,851,019	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,984,084	745,259	△980,592	△972,628	2,815,010	△6,556,205	3,034,928	
前期末支払資金残高(12)	26,261,750	44,227,196	12,806,847	18,874,389	3,961,038	23,856,802	129,988,022	
当期末支払資金残高(11)+(12)	34,245,834	44,972,455	11,826,255	17,901,761	6,776,048	17,300,597	133,022,950	

事業活動内訳表 (内部取引含む)

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工房	ふきのとう	ほづら八王子	ころぼっくる	とぶきふねん	合計
サービス活動増減の部							
収益							
085 就労支援事業収益		19,643,703	1,054,073	42,370,003		73,998,100	137,065,879
01 木工事業収益		4,672,297	900,878				5,573,175
02 農産品事業収益		437,030					437,030
03 リサイクル事業収益		8,501,153	68,565				8,569,718
04 仕入品販売事業収益		510,970	84,630				595,600
05 生活介護事業収益		391,280					391,280
06 新割事業収益		1,356,410					1,356,410
07 不燃物処理事業収益						73,998,100	73,998,100
08 クッキー販売事業収益		1,972,440					1,972,440
09 食品容器製造事業収益				42,370,003			42,370,003
10 その他事業収益		106,185					106,185
11 清掃事業収益		1,695,938					1,695,938
086 障害福祉サービス等事業収益	2,700	113,111,792	39,867,991	39,324,518	32,094,625	6,501,333	230,902,959
01 自立支援給付費収益		93,916,639	35,058,867	26,013,924			154,989,430
01 介護給付費収益		39,340,742	35,211,733				74,552,475
03 訓練等給付費収益		54,575,897	△152,866	26,013,924			80,436,955
02 障害児施設給付費収益					22,981,308		22,981,308
01 障害児通所給付費収益					22,981,308		22,981,308
03 利用者負担金収益		446,400		465,000		259,133	1,170,533
01 利用者負担金収益		446,400		465,000			911,400
02 国が定める負担金放課後デ					259,133		259,133
05 特定費用収益		1,809,000	10,000	706,579		166,100	2,691,679
06 その他の事業収益	2,700	16,939,753	4,799,124	12,139,015	8,688,084	6,501,333	49,070,009
091 経常経費寄附金収益		370,800	140,000	20,000		79,200	610,000
01 寄附金収益		370,800	140,000	20,000		79,200	610,000
サービス活動収益計(1)		373,500	132,895,495	40,942,064	81,694,521	32,173,825	80,499,433
費用							
021 人件費	14,576,467	80,164,213	31,809,394	30,822,150	25,723,075		183,095,299
022 事業費		15,554,817	3,350,780	3,416,618	3,611,654		25,933,869
023 事務費	1,585,879	5,941,278	2,925,606	1,630,400	3,094,328		15,177,491
024 就労支援事業費用		17,363,968	1,185,777	42,370,003		74,145,706	135,065,454
01 就労支援事業販売原価		17,363,968	1,185,777	42,370,003		74,145,706	135,065,454
01 木工事業費		4,955,030	1,185,777				6,140,807
02 農産品事業費		418,103					418,103
03 リサイクル事業費		6,033,166					6,033,166
04 仕入品販売事業費		214,163					214,163
05 生活介護事業費		976,059					976,059
06 新割事業費		1,126,438					1,126,438
07 不燃物処理事業費						74,145,706	74,145,706
08 クッキー販売事業費		1,843,445					1,843,445
09 食品容器製造事業費				42,370,003			42,370,003
11 清掃事業費		1,797,564					1,797,564
028 減価償却費	103,619	8,208,754	2,768,127	101,928	2,076,776	111,255	13,370,459
029 国庫補助金等特別積立金取崩額		△5,592,856	△4,008,412	△62,920	△1,372,082		△11,036,270
サービス活動費用計(2)	16,265,965	121,640,174	38,031,272	78,278,179	33,133,751	74,256,961	361,606,302
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△15,892,465	11,255,321	2,910,792	3,416,342	△959,926	6,242,472	6,972,536
サービス活動増減の部							
収益							
094 受取利息配当金収益		1,089	692	101	149	142	196
101 その他のサービス活動外収益	50,067	1,739,524	9,000	493,833	70,100	1,050,260	3,412,784
01 受入研修費収益		59,000					59,000
02 利用者等外給戻収益		1,403,470		289,340		1,050,260	2,743,070
04 雑収益	50,067	277,054	9,000	204,493	70,100		610,714
サービス活動外収益計(4)	51,156	1,740,216	9,101	493,982	70,242	1,050,456	3,415,153
費用							
040 その他のサービス活動外費用	1,000,019	456,363					1,456,382
01 利用者等外給戻費		456,363					456,363
03 雑損失	1,000,019						1,000,019
サービス活動外費用計(5)	1,000,019	456,363					1,456,382
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△948,863	1,283,853	9,101	493,982	70,242	1,050,456	1,958,771
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△16,841,328	12,539,174	2,919,893	3,910,324	△889,684	7,292,928	8,931,307
特別増減の部							
収益							
102 施設整備等補助金収益		67,000	50,000				117,000
107 保険料収益		99,757					99,757
108 事業区分間繰入金収益	13,673,508						13,673,508
109 拠点区分間繰入金収益	7,371,160	79,500	48,000		3,000,000		10,498,660
110 サービス区分間繰入金収益	7,742,260		975,880				8,718,140
113 サービス区分間固定資産移管収益			6,585,379				6,585,379
特別収益計(8)	28,786,928	246,257	7,659,259		3,000,000		39,692,444
費用							
041 基本金組入額			157,967				157,967
045 国庫補助金等特別積立金積立額		67,000	2,390,401	130,680			2,588,081
048 事業区分間繰入金費用					13,673,508		13,673,508
049 拠点区分間繰入金費用	3,000,000		2,758,200	4,740,460			10,498,660
050 サービス区分間繰入金費用		7,742,260	975,880				8,718,140
053 サービス区分間固定資産移管費用			6,585,379				6,585,379
特別費用計(9)	3,000,000	7,809,260	12,867,827	4,871,140		13,673,508	42,221,735
特別増減差額(10)=(8)-(9)	25,786,928	△7,563,003	△5,208,568	△4,871,140	3,000,000	△13,673,508	△2,529,291
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,945,600	4,976,171	△2,288,675	△960,816	2,110,316	△6,380,580	6,402,016
前期繰越活動増減差額(12)	46,306,950	47,947,579	28,236,940	19,140,110	12,104,193	24,029,400	177,765,172
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	55,252,550	52,923,750	25,948,265	18,179,294	14,214,509	17,648,820	184,167,188
繰越活動増減差額の部							
115 基本金取崩額(14)			157,967				157,967
055 その他の積立金積立額(16)		6,279,000					6,279,000
01 工賃変動積立金積立額		1,279,000					1,279,000
02 施設整備等積立金積立額		4,000,000					4,000,000
03 設備等整備積立金積立額		1,000,000					1,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)-(16)	55,252,550	46,644,750	26,106,232	18,179,294	14,214,509	17,648,820	178,046,155

貸借対照表内訳表

(内部取引含む)

(単位:円)

勘定科目	本部	ひのき工房	ふきのとう	ほぶら八王子	ころぼっくる	とぶきふねん	合計
001 流動資産	60,962,038	53,054,009	14,363,625	24,939,313	10,625,416	24,213,078	188,157,479
01 現金預金	34,498,150	36,092,426	7,986,063	15,139,162	5,559,460	17,959,198	117,294,459
01 現金	41,103	96,863	54,840	8,812		32,440	231,994
02 普通預金	34,457,047	35,995,563	7,931,223	15,130,350	5,501,524	17,926,758	116,942,465
03 事業未収金		16,681,853	6,377,562	5,182,593	5,013,065		33,254,873
01 事業未収金(ころ)					5,013,065		5,013,065
02 国保連		16,681,853	6,377,562	5,182,593			28,241,808
04 未収金				4,496,338	46,172	6,166,500	10,709,010
15 立替金	230,133	50,960			1,019		282,112
22 短期貸付金	418,275						418,275
23 事業区分間貸付金	6,912,481					87,380	6,999,861
24 拠点区分間貸付金	12,624,010	12,000		121,220	5,700		12,762,930
25 サービス区分間貸付金	6,278,989	141,420					6,420,409
26 仮払金		75,550					75,550
02 仮払金		75,550					75,550
002 固定資産	90,462,131	97,231,731	32,773,952	1,905,561	16,979,540	1,845,223	241,198,138
001 基本財産	81,585,644	53,854,261	14,285,784		13,581,063		163,286,752
01 土地	81,585,644						81,585,644
02 建物		53,854,261	14,285,784		13,581,063		81,701,108
002 その他の固定資産	8,876,487	43,377,470	18,508,168	1,905,561	3,398,477	1,845,223	77,911,366
01 土地			10,876,000				10,876,000
04 構築物		1,324,520	2,627,046		1,951,032		5,902,598
05 機械及び装置		35	2				37
06 車輛運搬具		2,230,443	2,840,144	2	3	2	5,070,594
07 工具器具備品	2	1,479,052	194,976	377,559	140,442	348,221	2,540,252
08 建設仮勘定	1,065,135						1,065,135
11 ソフトウェア	240,350						240,350
18 退職給付引当資産	7,531,000	3,020,000	1,962,000	1,528,000	1,283,000	1,497,000	16,821,000
19 工賃変動積立資産		3,491,000					3,491,000
20 施設整備等積立資産		27,500,000					27,500,000
22 設備等整備積立資産		4,317,000					4,317,000
23 差入保証金			8,000		24,000		32,000
25 その他の固定資産	40,000	15,420					55,420
資産の部合計	151,424,169	150,285,740	47,137,577	26,844,874	27,604,956	26,058,301	429,355,617
011 流動負債	26,716,204	8,081,554	2,537,370	7,037,552	3,849,368	6,912,481	55,134,529
02 事業未払金		135,556	100,186				235,742
03 その他の未払金	3,287,700						3,287,700
08 未払消費税(本部)	3,287,700						3,287,700
14 未払費用	15,687,676	1,541,569	105,094				17,334,339
01 工賃		1,527,671	105,094				1,632,765
04 その他		13,898					13,898
05 給与(本部)	15,227,346						15,227,346
06 その他(本部)	460,330						460,330
15 預り金	596,847	120,000	191,000	392,000			1,299,847
16 職員預り金	6,793,701						6,793,701
19 事業区分間借入金	81,940	5,440				6,912,481	6,999,861
20 拠点区分間借入金	126,920		2,141,090	6,645,552	3,849,368		12,762,930
21 サービス区分間借入金	141,420	6,278,989					6,420,409
012 固定負債	7,531,000	3,020,000	1,962,000	1,528,000	1,283,000	1,497,000	16,821,000
08 退職給付引当金	945,000	3,020,000	1,962,000	1,528,000	1,283,000	1,497,000	10,235,000
02 退職給別金	945,000	3,020,000	1,962,000	1,528,000	1,283,000	1,497,000	10,235,000
09 役員退職慰労引当金	6,586,000						6,586,000
負債の部合計	34,247,204	11,101,554	4,499,370	8,565,552	5,132,368	8,409,481	71,955,529
013 基本金	31,999,415	12,805,770	7,898,325				52,703,510
01 第一号基本金	31,999,415	12,805,770	7,898,325				52,703,510
014 国庫補助金等特別積立金	29,925,000	44,425,866	8,633,850	100,028	8,258,079		91,342,423
015 その他の積立金		35,308,000					35,308,000
01 工賃変動積立金		3,491,000					3,491,000
02 施設整備等積立金		27,500,000					27,500,000
03 設備等整備積立金		4,317,000					4,317,000
016 次期繰越活動増減差額	55,252,550	46,844,750	26,106,232	18,179,294	14,214,509	17,648,820	178,046,155
02 (うち当期活動増減差額)	8,945,600	4,978,171	△2,288,675	△960,816	2,110,316	△6,380,580	6,402,016
純資産の部合計	117,176,965	139,184,186	42,638,207	18,279,322	22,472,588	17,648,820	357,400,088
負債及び純資産の部合計	151,424,169	150,285,740	47,137,577	26,844,874	27,604,956	26,058,301	429,355,617

※決算内容については、落の会ホームページにも掲載しております。

落の会だよりに掲載した決算データは、落の会内部の取引も表示しております。

HPで公開した決算データは、落の会内部の取引を消去した数字となっております。

2023 年度予算

資金収支予算内訳表

(単位:円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ぼぶら八王子	ころぼっくる	とぶきふねん	合計	
事業活動による収支	収入	165 就労支援事業収入		18,860,000	1,354,000	42,748,592		71,025,900	131,788,492
		01 木工事業収入		4,500,000	1,200,000				5,700,000
		02 農産品事業収入		300,000					300,000
		03 リサイクル事業収入		7,000,000	74,000				7,074,000
		04 仕入品販売事業収入		250,000	80,000				330,000
		05 生活介護事業収入		400,000					400,000
		06 薪割事業収入		560,000					560,000
		07 不燃物処理事業収入						71,025,900	71,025,900
		08 キッキー販売事業収入		2,000,000					2,000,000
		09 食品容器製造事業収入				42,748,592			42,748,592
		10 その他事業収入		100,000					100,000
		11 清掃事業収入		1,550,000					1,550,000
		166 障害福祉サービス等事業収入		111,691,140	47,400,000	45,768,210	32,286,770	6,966,000	244,052,120
		01 自立支援給付費収入		92,500,000	43,000,000	31,584,000			167,084,000
		02 障害児施設給付費収入					22,969,470		22,969,470
		03 利用者負担金収入		440,000		669,600	260,000		1,369,600
		05 特定費用収入		1,740,000	10,000	681,250	170,000		2,601,250
		06 その他の事業収入		16,951,140	4,390,000	12,833,360	8,887,300	6,966,000	50,027,800
		172 経常経費寄附金収入	400,000	140,000	20,000		50,000		610,000
		01 寄附金収入	400,000	140,000	20,000		50,000		610,000
		173 受取利息配当金収入	1,000	400					1,400
		174 その他の収入	50,000	1,538,000	10,000	299,000	65,000	1,020,000	2,980,000
		事業活動収入計(1)	451,000	129,967,540	48,784,000	88,815,802	32,401,770	79,011,900	379,432,012
	事業活動による支出	支出	121 人件費支出	20,995,800	79,830,000	33,889,080	28,722,064	27,122,040	
		122 事業費支出		14,841,000	3,886,000	3,478,930	3,882,000		26,087,930
		123 事務費支出	2,401,800	8,443,000	3,791,000	1,824,000	2,553,520		17,013,320
		124 就労支援事業支出		15,860,900	1,300,000	42,798,000		72,679,000	132,637,900
		01 就労支援事業販売原価支出		15,860,900	1,300,000	42,798,000		72,679,000	132,637,900
		01 木工事業支出		4,873,300	1,300,000				6,173,300
		02 農産品事業支出		244,000					244,000
		03 リサイクル事業支出		6,017,900					6,017,900
		04 仕入品販売事業支出		229,200					229,200
		05 生活介護事業支出		938,500					938,500
		06 薪割事業支出		90,000					90,000
		07 不燃物処理事業支出						72,679,000	72,679,000
		08 キッキー販売事業支出		1,920,000					1,920,000
		09 食品容器製造事業支出				42,798,000			42,798,000
		11 清掃事業支出		1,550,000					1,550,000
		129 その他の支出		900,000					900,000
		01 利用者等外給食費支出		900,000					900,000
		事業活動支出計(2)	23,397,600	117,874,900	42,866,080	76,822,994	33,557,560	72,679,000	367,198,134
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△22,946,600	12,092,640	5,917,920	11,992,808	△1,155,790	6,332,900	12,233,878
施設整備等収支		収入	176 施設整備等補助金収入					59,800	59,800
			施設整備等収入計(4)					59,800	59,800
		支出	132 固定資産取得支出	15,000,000	300,000			100,000	15,400,000
			07 器具及び備品取得支出		300,000			100,000	400,000
			09 その他の固定資産取得支出	15,000,000					15,000,000
		施設整備等支出計(5)	15,000,000	300,000			100,000	15,400,000	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△15,000,000	△300,000				△40,200	△15,340,200	
その他の活動による収支	収入	193 事業区分間繰入金収入	13,486,200						13,486,200
		194 拠点区分間繰入金収入	8,192,060				3,000,000		11,192,060
		195 サービス区分間繰入金収入	8,228,140						8,228,140
		その他の活動収入計(7)	29,906,400				3,000,000		32,906,400
	支出	140 積立資産支出	650,000	2,267,000	2,219,000	90,000	183,000	387,000	5,796,000
		01 退職給付引当資産支出	650,000	597,000	219,000	90,000	183,000	387,000	2,126,000
		03 工賃変動積立資産支出		670,000					670,000
		04 施設整備等積立資産支出		1,000,000					1,000,000
		05 設備等整備積立資産支出			2,000,000				2,000,000
		147 事業区分間繰入金支出						13,486,200	13,486,200
		148 拠点区分間繰入金支出	3,000,000		2,804,400	5,387,660			11,192,060
		149 サービス区分間繰入金支出		8,228,140					8,228,140
	その他の活動支出計(8)	3,650,000	10,495,140	5,023,400	5,477,660	183,000	13,873,200	38,702,400	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	26,256,400	△10,495,140	△5,023,400	△5,477,660	2,817,000	△13,873,200	△5,796,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△11,690,200	1,287,500	894,520	6,515,148	1,661,210	△7,580,500	△8,902,322	
	前期末支払資金残高(12)	34,245,834	44,972,455	11,826,255	17,901,761	6,776,048	17,300,597	133,022,950	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	22,555,634	46,269,955	12,720,775	24,416,909	8,437,258	9,720,097	124,120,628	



## トルコ・シリア地震 緊急募金の御礼

トルコ南部カフラマンマラシュ県で昨年2月6日午前4時17分(日本時間同日午前10時17分)、大地震が発生し、その後もマグニチュード6から7クラスの大規模地震が相次ぎました。トルコ南東部で発生した大規模な地震では、隣接するシリアと合わせて5万人以上の死亡が確認され、被災地では厳しい寒さの中、避難生活が続き、支援物資は大幅に不足し、被災者の生活再建のめどは全く立たない中で、たくさんの人々が支援を待ち望んでおりました。露の会で呼び掛けた支援カンパに各施設で多くの方が賛同していただき下記の通り128,802円が集まりました。

皆様の御理解と御協力に心から感謝を申し上げます。この募金はきょうされんを通じて被災した方へ寄附させていただきました。

本当にありがとうございました。

単位：円

施設名	職員		利用者・メンバー		合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額
ふきのとう	6	4,000	2	2,097	8	6,097
ころぼっくる	14	15,000	20	30,968	34	45,968
ひのき工房	20	16,810	41	9,179	61	25,989
とぶきふねん	7	7,000	16	4,948	23	11,948
ぽぷら八王子	6	14,500	3	9,000	9	23,500
本部	3	15,300			3	15,300
合計	56	72,610	82	56,192	138	128,802

### <露の会へご寄付いただいた皆様>

この数年は、コロナ禍であることもあり私どもから御寄附のお願いは致しませんでした。以下の方々から温かい御寄附をいただきました。(敬称略)

露の会本部 丹野 章子、大濱 順彦、中間 達雄、露の会後援会

本当にありがとうございました。日常におみやげなど物品の御寄附もいただいております。いろいろな形での御支援に心から感謝申し上げます。

理事長 関 裕子

## 多大なご支援ありがとうございます(後援会会費)

後援会会費を納入していただき、心から厚く御礼申し上げます。  
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」「ぽぷら八王子」「とぶきふねん」の四施設、一事業所の活動に有効に使わせて頂きます。ご支援いただいた皆様のお名前を掲載させていただきます。

期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(敬称略・順不同)

高橋 厳	堀内 紘子	坂本 清	松本 大和
関口 大輝	新島 快	本山 瑞稀	佐々木 正枝
五十嵐 典子	根本 威	大森 敬博	蓮江 明美
肥後 伸一	平松 廣	橋本 和男	加藤 スミ子
山内 昭江	西川 治	石川 三郎	村田 英子
木崎 徳太郎	高橋 和子	上原 剛	山崎 具子
進藤 丕	柿下 豊一・良治	小崎 健太	青木 勝美
佐藤 一平	野中 俊昌	平岡 直生	井上 睦子
山本 武志	天野 幸子	大日向 宏	溝上 裕夫
井出 太刀三郎	成枝 正考	井上 和子	神田 由美子
石井 英典	本堂 公子	山口 智	平瀬 武明
細川 時子	高橋 攻	下楠藪 アヤコ	尾崎 初代
荒井 盛雄	椛島 成治	林 伸行	窪田 幸男
岩田 みさを	飯野 訓征	曾根崎 和夫	高津 福枝
伊藤 博夫	岩澤 六夫	関 裕子	遠藤 秀男
(株)三和設計	(株)高尾印刷	株式会社愛和セレモニー	
多摩DIY倶楽部	有限会社コットン	一般社団法人やまざくら福祉協会	
平澤 光春	ボール前田 和江	内田 立蔵	

「落の会 後援会」への会費納入のお願い

年会費 一口 1,000円 1口以上

お振込み先/郵便口座 0150-8-194227

口座加入者 落の会 後援会

(振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

### 編集後記(本部 渡辺)

ようやくコロナも5類に移行し、ひのき工房やふきのとうではイベント販売への参加が再開されました。ひのき工房では日帰り旅行や、ぽぷら八王子でも、旅行もかねて長野でのフロアホッケーの試合観戦など、利用者、メンバーさんの楽しみも増え、笑顔も取り戻しつつあるように思います。幸い、この3年間コロナで重篤となる方もおられず過ごすことが出来たのは、職員も含めた感染に対する皆さんの努力があったからこそと思います。今後は、この3年間を取り戻すべく、活動を続けられるよう本部としても支援を続けて参りますので、引き続き皆様方のご支援・ご協力をお願い致します。☆HPにも詳細な資料を掲載しておりますのでご覧ください。

TEL042-667-2158 FAX042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

落の会 HP: <https://fukinokai-swc.jimdofree.com/>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

## 後援会だより

7月1日に、後援会役員になったばかりの方々に対して各施設が日頃どんな活動をしているか知ってもらうために、それぞれの施設が記録した動画や写真を写しながら説明しました。他施設をまだ見学したことのない職員さんも特にぽぷら八王子やとぶきふねんのメンバーさんの作業に感心していたようです。

### 新役員を選出し、後援会の活動が再スタート

コロナのためここ数年間総会も役員会も休止状態で、旧役員も退任されました。旧役員の皆様長い間ごろうさまでした。各施設から新たにご家族の方一名と職員さん1名を選出していただき、7月1日に第1回目の役員会が開催され、役員が選出され、方針、予算を決定して新体制が発足しました。

#### 1. 後援会発足(平成14年頃)から現在までの活動の概要が説明された。(岩澤理事)

ふきのとう、ころぼっくる、ひのき工房の施設作りやふきのとう工芸祭、いちよう祭などへの協力。利用者の団体生命共済の掛け金の半分を後援会から出してもらってきたこと。又、後援会としてグループホームの研修会も開催。

#### 2. 令和4年度決算報告(別表1)

旧役員の皆さんが退任されたので露の会の本部井上職員が引継ぎ、決算報告をさせていただきます承認されました。試験的に後援会費納入の返礼品として、ひのき工房で作った木製クリップを御礼としてお渡ししました(3名)。

#### 3. 後援会活動の進め方について

新しい後援会の再出発に当たり、後援会活動の必要性和重要性について岩澤理事より話がありました。相模原の津久井やまゆり園の事件や最近起こっている老人施設での職員による虐待など御家族や地域住民が日常的に出入する開かれた施設では起こりにくいのではないのでしょうか。御家族の皆さんや地域の方々が、施設や利用者の日常生活に関心を持ち、疑問や意見を出し合うことが重要だと思いますし、そのための後援会活動が必要だと思います。例えば、各施設で事業報告会を行い、施設に要望を出したり、家族同士でも意見交換するなど、交流の場を設けることが大切です。自分の家族の利用する施設だけでなく、例えばころぼっくるの放課後等デイサービスの児童が卒業後のために生活介護(ふきのとう)、就労継続支援B(ひのき工房、ぽぷら八王子)、就労(ぽぷら八王子、とぶきふねん)、の施設を見学し、そこを利用している親御さんの意見を聞くことも良いと思います。

#### 4. 役員互選

次の方々新しい役員に決定されました。(敬称略、(施設略称)親御さん、(\*職員))

**会長** 前田 英勝(とぶき)

**副会長** 上原 剛(ひのき) 鶴谷啓一\*

**事務局長** 木原 法子\*

**幹事** 佐藤とみ江(ふき)、新島紫(ころ)、小川栄一(ぽぷら)、遠藤雅文\*

**会計** 井上 奈津子\*

**会計監査** 上杉 由美\*、廣田 律子\*

## 5. 後援会会則の一部修正と後援会経理規程が承認されました。

落の会后援会会則(改定)

落の会后援会経理規程(新規)

## 6. 令和5年度 活動方針

- (1) 利用者(家族)、職員の全員参加をお願いします(会費:1人1口1,000円)
- (2) 役職者は、友人・知人に後援会を勧めます
- (3) 施設ごとに、年1回以上活動報告・見学会を実施します(他施設の報告会にも参加可)
- (4) 会員の施設見学、交流会などを企画します
- (5) 法人の行う新施設開設資金や、災害見舞金のカンパに協力の呼び掛けを行います

注:落の会の各施設、ふきのとう、ころぼっくる、ひのき工房など、役職員はじめ、利用者家族、更に全国の友人、知人からの貴重なカンパで開設してきました。また赤い羽根共同募金や各種支援団体様から送迎車等の助成もいただいております。従って私共落の会は今後も共同募金や災害見舞金を続けていきます。

## 7. 令和5年度予算(別表2)

別表の通り予算が承認されました。

## 8. 利用者家族新役員の皆様からの意見、感想等

- ・障がい者の働く場を創って頂いてありがたい。後援会役員として協力していきたい。
- ・今まで子供を育てるのに必死で大変だったが今は前向きに考え施設のために出来るだけ協力していきたい。
- ・現在別の場でボランティア活動を行っているので厳しいが自分の出来る範囲で良ければ引き受けましょう(会長)
- ・全労済(団体生命共済加入)のことを強調すると後援会は全労済の会費を納めるためと誤解されるので親御さんや会員に納得できるように説明すべきではないですか。  
(法人の追加説明:発足当時、障がい者が亡くなったりケガをした時に入れる保険がありませんでした。その後、全労済団体生命共済ができ利用者が加入できるようになり、今迄に10名の方がお亡くなりになり百万円の見舞金が支払われ御家族にお渡ししております)
- ・自分の施設の問題点を具体的に発言して改善していくことが必要ではないでしょうか。
- ・現施設の安全対策や修繕費にお金を使うべきではありませんか。
- ・計画中の新施設のために後援会のお金を充てるのはどうなのでしょう。  
(法人の追加説明:後援会費を新施設建設費用に充てさせていただくということではなく、法人が行う資金集めなどに、後援会から広く協力の呼びかけをお願いしたいということです。との説明で、御理解をいただきました)
- ・後援会費をどのように使うかについては、今後役員会で議論し、検討していきます。

「蒔の会後援会」令和4年度決算報告 別表 1		
令和4年4月1日～令和5年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	500,000	会員数 78名
繰越金	1,244,645	
計	1,744,654	
科目	支出	摘要
施設援助費	300,000	全労済掛金(半額負担)ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	13,777	口座徴収料金
通信費	825	トークン発送料
返礼品	1,080	
繰越金	1,428,963	
計	1,744,645	

「蒔の会後援会」令和5年度予算 別表 2		
令和5年4月1日～令和6年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	600,000	会員数 100名
繰越金	1,428,963	
計	2,028,963	
科目	支出	摘要
施設援助費	700,000	全労済掛金(全額負担)ころぼっくる行事費を含む
振込手数料	18,400	口座徴収料金
通信費	10,000	
会議費	15,000	
消耗品費	20,000	返礼品
雑費	20,000	
予備費	50,000	
繰越金	1,195,563	
計	2,028,963	

### 後援会再スタート会議の様子



#### 「全労済団体保険」加入の経緯について (法人からのご説明)

利用者さんのご家族からの要望で団体保険に加入し、ふきのとう開設後の平成4年(’92)頃から継続しており、支払い対象となったご家族の方からは感謝されています。保険対象者は、障害福祉サービス事業(生活介護/就労B)の利用者さん全員です。(雇用契約のある就労A、一般就労のメンバーさんはR5年度(’23)より「社会福祉従事者相互保険」の方に加入し法人が負担しています)

R4年度(’22)までは後援会と各施設が半分ずつ負担して加入していました。

現在の保険内容：病気ケガによる入院保障：1日1,000円、1回の入院で180日まで  
 病気による死亡：100万円、不慮の事故による死亡・重度障害：200万円  
 不慮の事故による後遺障害：4～90万円

# ころぼっくる トピックス

～ころぼっくるのあそびランキングと壁面を彩る造形のご紹介です～

## ◆自由時間の過ごし方ランキング

### <放課後デイ>

1位・音のなる絵本



2位・マットあそび



3位・役割あそび

### <日中一時>

1位・DVD鑑賞



2位・お絵描き



3位・コラージュ

## ◆よく行くお出かけ先ランキング

### <放課後デイ>

1位・桃の里広場



2位・殿入中央公園



3位・服部牧場

### <日中一時>

1位・城山湖



2位・桃の里広場

3位・多摩御陵



## ◆ころぼっくるの壁面を彩る造形たち

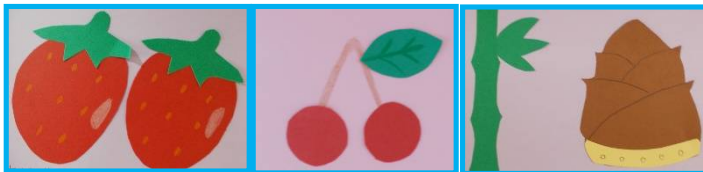
### <チューリップとあじさい>



### <おひなさまと鯉のぼりとお正月>



### <いちごとさくらんぼとたけのこ>



### <アンパンマン・かえる・ハロウィン・どんぐり>



造形には、個性がでます。色んな個性が集まる楽しい場所、それがころぼっくる！



# とびきりねん トピックス

初めての避難訓練！  
緊張する～見ないで～



天気も良いし！みんなで  
構内清掃！草取りだ～！



今日バス止まらないよな～？  
家に帰れるかな～？



フォークリフト寒いよ

鰻！鰻！

鰻！鰻！



うなぎ美味しい！  
また食べたい！！



# ひのき工房 トピックス

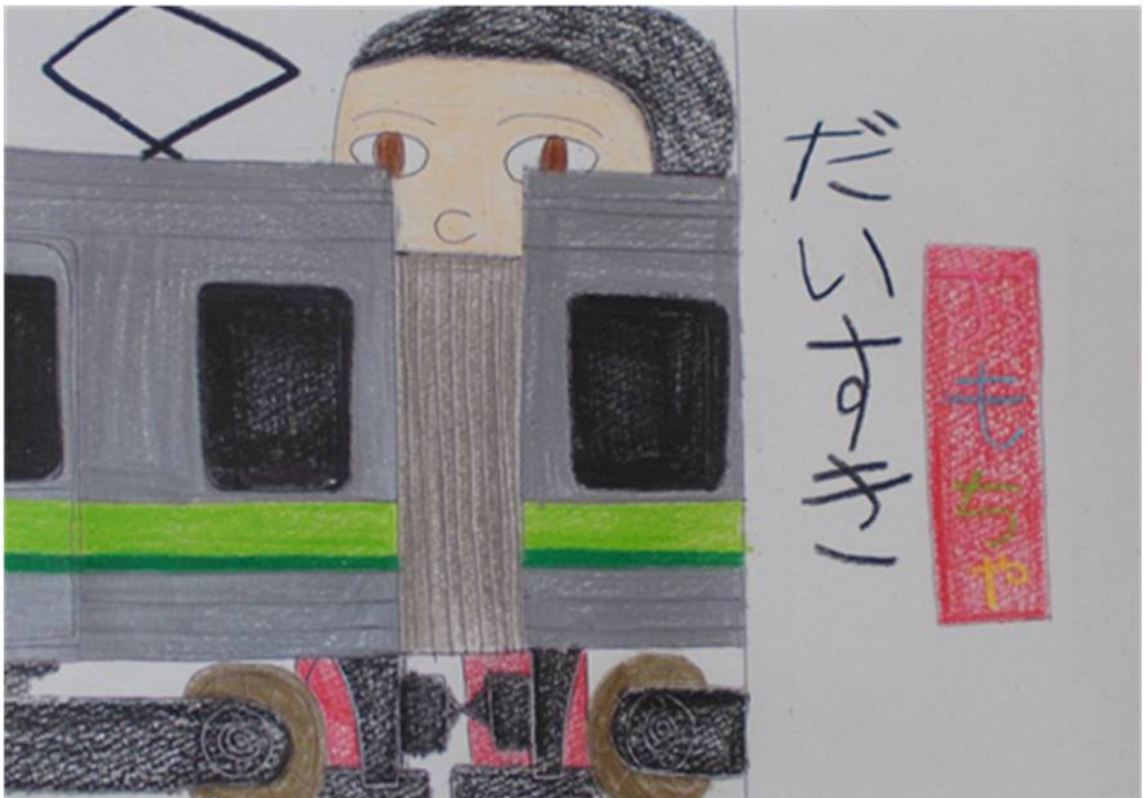




## 関東甲信越フロアホッケー競技大会に参加してきました！



「おもちゃだいすき」ころぽっくる 高原 良輔さんの作品



# ゆき工房の木工とクッキー製品です



# ゆきのとうの木工製品です



編集人

社会福祉法人 路の会  
障害者団体定期刊行物協会

(会費に含まれます)  
返却先

発行人

郵便番号一五七-〇〇七二  
東京都世田谷区祖師谷三丁目一-七-一〇二

定価一〇〇円